

撮影する(応用編)

本機はさまざまな機能の切り替えにより、多彩な応用撮影ができます。


ピント合わせの方法を変える

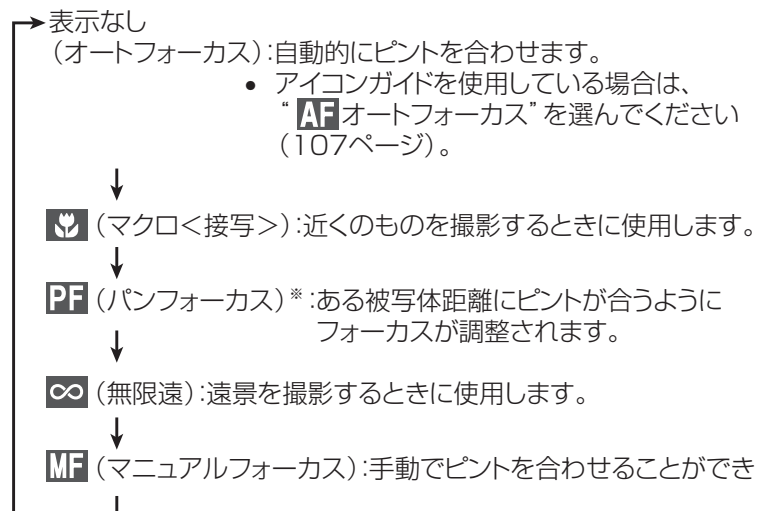
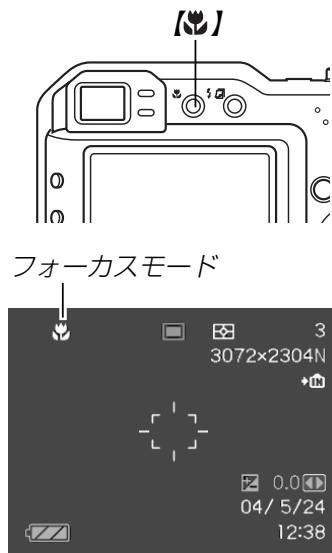
ピント合わせの方法には、オートフォーカス、マクロ、無限遠、マニュアルフォーカス、パンフォーカスの5種類があります。これらをフォーカスモードといいます。

重要! • パンフォーカスは、ムービーモード時にのみ使用できます。他のRECモードでは使用できません。

1. RECモードにします。

2. を押して、ピント合わせの方法を選びます。

- を押すたびに【液晶モニター】に次の順でピント合わせの方法が表示され、切り替わります。



※ ムービーモード以外のRECモードでは、“**PF**”(パンフォーカス)に切り替えることはできません。

自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

オートフォーカスでは自動的にピントを合わせることができます。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

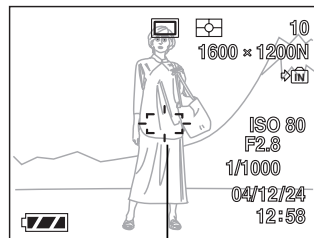
範囲：約40cm～∞

1. 【AF】を何回か押してフォーカスモード表示を消します。

- アイコンガイドを使用している場合は、「AF オートフォーカス」を選んでください(107ページ)。

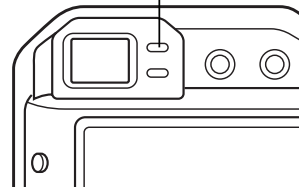
2. ピントを合わせたい被写体を【フォーカスフレーム】の中にとらえて、【シャッター】を半押しします。

- 【動作確認用ランプ】と【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。



【フォーカスフレーム】

緑の【動作確認用ランプ】



状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

参考 ● オートフォーカス方式(AF方式)(102ページ)が“ハイブリッド”に設定されているときは、【シャッター】を半押しせずにいきなり押し込むことによって、位相差センサー方式のみでの高速オートフォーカス動作による撮影を行うことができます。

ただし、【シャッター】を半押しした場合と比べてフォーカス精度の点で多少劣りますので、ご注意ください。

- 特に緊急の撮影を除いて、【シャッター】を半押しして通常のオートフォーカス動作を行ってから撮影をおすすめします。
- 被写体がオートフォーカスの範囲よりも近距離にあり、ピントが合わない場合には、自動的にマクロ(65ページ)の範囲までピント調整を行います。

■ オートフォーカスの測定範囲(AFエリア)を変える

オートフォーカスモード、マクロモードでは、オートフォーカス(AF)の測定範囲を変更することができます。設定によって【フォーカスフレーム】の形状も変わります。

1. RECモードで【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“AFエリア”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

スポット：中央のごく狭い部分を測定します。フォーカスロック(68ページ)を活用した撮影に便利です。

マルチ：【シャッター】を半押しすると、7つの測距点の中で、距離が一番近い被写体にピントを合わせます。集合写真などに便利です。

フリー：【▲】【▼】【◀】【▶】で【フォーカスポイント】を移動した後、【SET】を押すことにより、【フォーカスフレーム】を自由に移動させることができます。フレーミングを考えずに、自由に被写体を捕らえたいときなどに便利です。

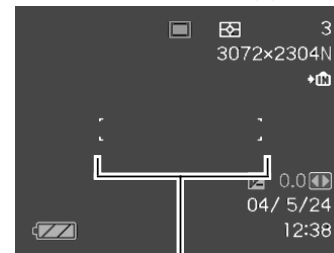
- 参考**
- “マルチ”に設定すると、幅広い【フォーカスフレーム】が表示されます。【シャッター】を半押しすると、ピントが合った場所の【フォーカスフレーム】が表示されます。

“スポット”の場合



【フォーカスフレーム】

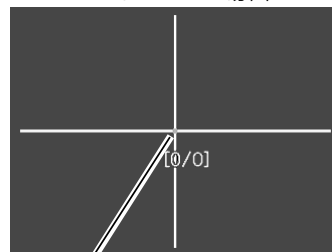
“マルチ”の場合



【フォーカスフレーム】

- “フリー”に設定すると、最初は【液晶モニター】の中央に【フォーカスポイント】が表示されます。

“フリー”の場合



【フォーカスポイント】

→
【SET】



【フォーカスフレーム】

- “フリー”に設定すると、オートフォーカス方式(AF方式)は自動的にコントラスト方式に切り替わります(102ページ)。

近くを撮影する(マクロ)

マクロでは近距離で自動的にピントを合わせることができます。近くのを撮影(接写)するとき 사용합니다。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。


範囲：約10cm～50cm(ワイド端)
約40cm～50cm(テレ端)

1. 【】を何回か押して“”を表示させます。

2. 撮影します。


- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】／【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。

重要! • マクロ(接写)でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し込まれることがありますので、ご注意ください。

参考 • 被写体がマクロの範囲より遠距離にあり、ピントが合わない場合には、自動的にオートフォーカス(63ページ)の範囲までピント調整を行います。
• マクロ(接写)撮影時に光学ズーム(51ページ)を行うと、画面上に下記のような撮影可能な距離の範囲が表示されます。
例： 10cm - 50cm

遠くを撮影する(無限遠)


無限遠では∞(無限遠)にピントが固定されます。景色など遠景を撮影するときに使用します。

1. 【】を何回か押して“∞”を表示させます。
2. 撮影します。

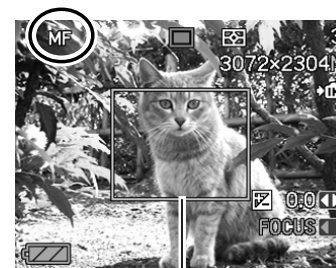
手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

マニュアルフォーカスでは手動でピントを合わせることができます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

光学ズーム倍率	範囲
1倍	約10cm~∞
4倍	約40cm~∞

1. 【】を何回か押して“MF”を表示させます。

- 手順2で拡大表示される範囲が枠で囲まれます。



枠

2. 【液晶モニター】で確認しながら、【◀】【▶】を押してピントを合わせます。

【◀】：近い側にピントを合わせる

【▶】：遠い側にピントを合わせる

- 【液晶モニター】にはマニュアルフォーカスの位置が表示され、およそのピントの位置が確認できます。
- ピントを合わせている間は表示が拡大表示になり、ピントの確認がしやすくなります。



マニュアルフォーカスの位置

3. 【シャッター】を押して撮影します。

重要! マニュアルフォーカス時はキーカスタマイズ(108ページ)により設定されている【◀】【▶】を押しての動作は無効になり、ピント合わせの動作が優先されます。

参考 マニュアルフォーカス撮影時に光学ズーム(51ページ)を行うと、画面上に下記のような撮影可能な距離の範囲が表示されます。
例：MF 10cm - ∞

ピントを固定して撮影する(パンフォーカス)

ムービーモード(94ページ)では、ある被写体距離にピントが合うようにフォーカスを調整しておくため、オートフォーカスの動作を行わずに撮影することができます。

1. ムービーモードを指定します(43ページ)。

- ムービーモードにすると、フォーカスモードは自動的にパンフォーカスになり、画面上に“PF”が表示されます。
- ムービーモードで他のフォーカスモードを指定しているときは、【📷】を何度か押して“PF”を表示させてください。



2. 【シャッター】を押して撮影します。

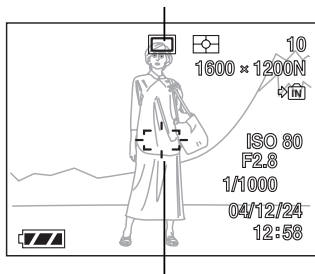
重要! パンフォーカスは、ムービーモード時にのみ使用できます。他のRECモードでは使用できません。

フォーカスロック

撮影したい構図で【フォーカスフレーム】に入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロックを使います。フォーカスロックはオートフォーカスモード、マクロモード(🌸)で使用できます。

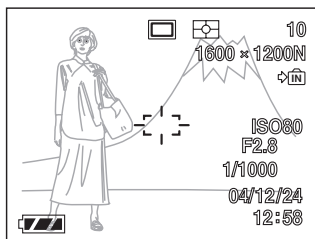
1. ピントを合わせたい被写体を【液晶モニター】で見ながら、【シャッター】を半押しします。

ピントを合わせたい被写体



【フォーカスフレーム】

2. 【シャッター】を半押ししたまま、撮影したい構図を決めます。



3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

参考 • フォーカスロックと同時に露出(AE)もロックされます。

露出を補正する(EVシフト)

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の値に手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正值：-2.0EV~+2.0EV

補正単位：1/3EV

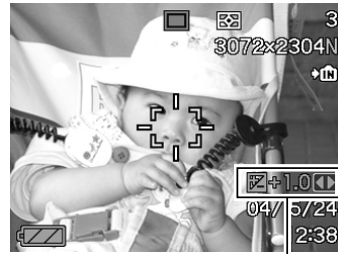
1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“EVシフト”と選び、【▶】を押します。



露出補正表示

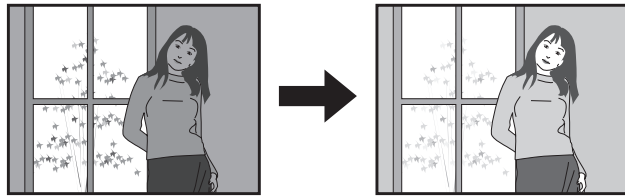
3. 【▲】【▼】で露出補正値を選び、【SET】を押します。

- これで露出補正値が設定されました。

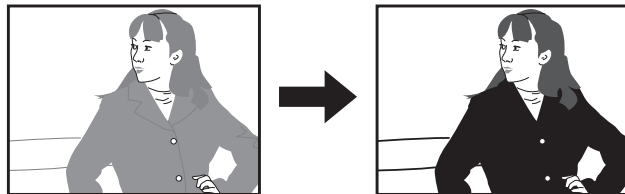


露出補正表示

【▲】：+方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



【▼】：-方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正値をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して“0.0”に合わせてください。

4. 撮影します。

重要! • 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

- 参考**
- 測光方式をマルチパターン測光(画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます)に設定しているときに露出補正を行うと、測光方式が自動的に中央重点測光(中央部を重点的に測光します)に切り替わります。露出補正値を“0.0”に戻すとマルチパターン測光に戻ります(103ページ)。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で露出値が補正できるように切り替えられます(108ページ)。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”と選び、【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

- オート : 自動的にホワイトバランスを調整します。
- 太陽光 : 晴天時の野外での撮影用
- 曇天 : 薄曇～雨天の野外や木陰などでの撮影用
- 日陰 : ビルの陰など極端に色温度が高いところでの撮影用
- 蛍光灯1 : 白色・昼白色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
- 蛍光灯2 : 昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
- 電球 : 電球の雰囲気を消した撮影用

WB フラッシュ

- : 複数の光源下でフラッシュの当たっている部分の青味を抑えた撮影用
- マニュアル : その場の光源に合わせて手動で設定します。
詳しくは「マニュアルホワイトバランスを設定する」を参照してください。

参考

- ホワイトバランスの“オート”では、被写体の中から白色点をカメラが自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってはカメラが白色点の判断に迷い、適切なホワイトバランスに調整されないことがあります。このような場合は、太陽光や曇天など光源を指定する固定モードをご使用ください。
- “マニュアル”を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際のバランスに設定されます。
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます(108ページ)。
- キーカスタマイズ機能で“オート”を選ぶときにアイコンガイド(107ページ)を使用している場合は、“AWB オートWB”を選んでください。

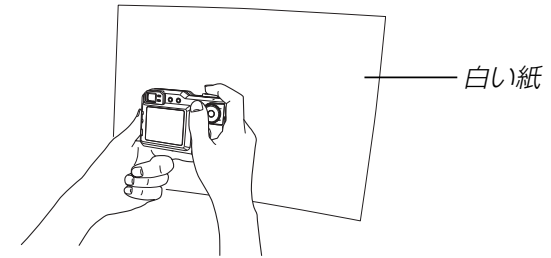
マニュアルホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの“オート”や太陽光、曇天など光源を指定する固定モードでは、複数の光源下など難しい環境において調整できる範囲に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面に一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“マニュアル”を選びます。
 - 【液晶モニター】には、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際のバランスで被写体が表示されます。



4. 画面全体に白い紙などを写した状態で【シャッター】を押します。



- “完了”と表示されたらホワイトバランスの調整は完了です。

5. 【SET】を押します。

- ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

- 参考**
- 一度設定したマニュアルホワイトバランスは、新たにマニュアルホワイトバランスを設定し直さない限り、電源を入/切しても保持されたままとなります。

露出の方法を変えて撮影する(露出モード)

撮影時の絞り値とシャッター速度の決定方法(露出モード)は、【モードダイヤル】によって次のように切り替えることができます。

Aモード : 絞り優先AE

Sモード : シャッター速度優先AE

Mモード : マニュアル露出

絞りを優先して撮影する(絞り優先AE)

Aモード(絞り優先AE)では任意の絞りに固定して撮影することができます。絞りを開けるとピントが合う範囲が狭くなり、逆に絞り込むとピントの合う範囲が広がります。シャッター速度は自動的に調整されます。

絞りを開ける



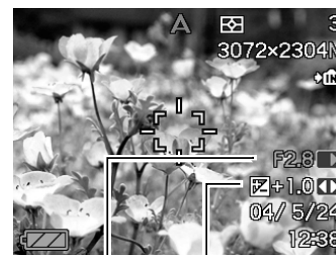
絞り込む



- 設定できる絞り

絞り値	開ける ← → 絞り込む
(W端の場合)	F2.8 · 3.2 · 3.5 · 4.0 · 4.5 · 5.0 · 5.6 · 6.3 · 7.1 · 8.0
ピント	浅い ← → 深い

1. 【モードダイヤル】を“A”(絞り優先)に合わせます。



絞り値

EVシフト

2. 【▲】【▼】で“絞り値”(25ページ)を選び、【◀】【▶】で絞り値を設定します。

- 【▲】【▼】で“EVシフト”を選び、【◀】【▶】で露出補正値を設定することもできます(25、68ページ)。
- マニュアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、66ページ)。

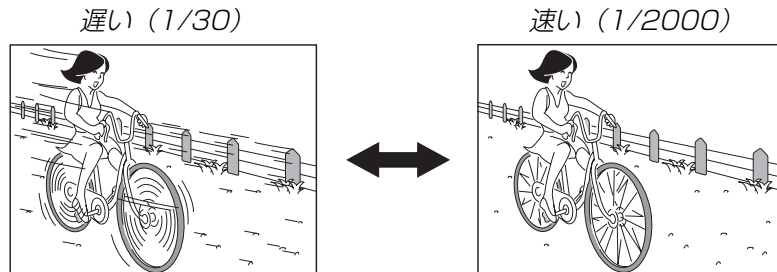
3. 【シャッター】を半押しします。

- 絞り値に合わせてシャッター速度をカメラが自動的に設定し、ピントを合わせます。
- 露出がオーバーまたはアンダー時には、【液晶モニター】にシャッター速度と絞り値が橙色で表示されます。

4. 【シャッター】を全押しして撮影します。

シャッター速度を優先して撮影する (シャッター速度優先AE)

Sモード(シャッター速度優先AE)では任意のシャッター速度に固定して撮影することができます。被写体の動きに応じたシャッター速度が設定できます。絞りは自動的に調整されます。



• 設定できるシャッター速度

シャッター速度	遅い ←→ 速い
	BULB*(バルブ)・60秒 ←→ 1/2000秒
動き	流れる ←→ 止まる

※最長60秒です。

1. 【モードダイヤル】を“S” (シャッター速度優先)に合わせます。



シャッター速度 EVシフト

2. 【▲】【▼】で“シャッター速度”(25ページ)を選び、【◀】【▶】でシャッター速度を設定します。

- 【▲】【▼】で“EVシフト”を選び、【◀】【▶】で露出補正値を設定することもできます(25、68ページ)。
- マニュアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、66ページ)。

3. 【シャッター】を半押しします。

- シャッター速度に合わせて絞り値をカメラが自動的に設定し、ピントを合わせます。
- 露出がオーバーまたはアンダー時には、【液晶モニター】にシャッター速度と絞り値が橙色で表示されます。

4. 【シャッター】を全押しして撮影します。

絞り値/シャッター速度を自由に設定して撮影する(マニュアル露出)

Mモード(マニュアル露出)では絞り値、シャッター速度を自由に設定して撮影することができます。

- 設定できる絞り

絞り値	開ける ← → 絞り込む
(W端の場合)	F2.8・3.2・3.5・4.0・4.5・5.0・5.6・6.3・7.1・8.0
ピント	浅い ← → 深い

- 設定できるシャッター速度

シャッター速度	遅い ← → 速い
	BULB*(バルブ)・60秒 ← → 1/2000秒
動き	流れる ← → 止まる

※最長60秒です。

1. 【モードダイヤル】を“M”(マニュアル露出)に合わせます。

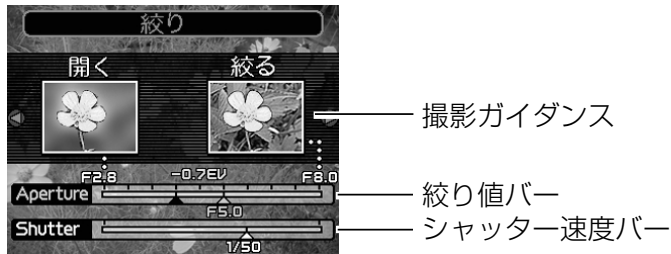


絞り値 シャッター速度

2. 【▲】【▼】で“絞り値”(25ページ)を選び、【◀】【▶】で絞り値を設定します。
3. 【▲】【▼】で“シャッター速度”(25ページ)を選び、【◀】【▶】でシャッター速度を設定します。
 - マニユアルフォーカス時は、【▲】【▼】で“FOCUS”(MF調整)を選び、【◀】【▶】でピントを合わせることができます(25、66ページ)。
4. 【シャッター】を半押しします。
 - カメラがピントを合わせます。
5. 【シャッター】を全押しして撮影します。

撮影ガイダンスと露出調整バーを表示する (マニュアルアシスト機能)

Aモード(絞り優先AE)／Sモード(シャッター速度優先AE)／Mモード(マニュアル露出)のときに【SET】を押すと、撮影ガイダンス(撮影時の参考になる情報)と露出調整バー(絞り値／シャッター速度バー)が画面に表示されます。



- Aモード時に【SET】に続けて【◀】【▶】を押すと、絞り値を設定することができます。なお、このとき撮影ガイダンスは画面上から消えます。
- Sモード時に【SET】に続けて【◀】【▶】を押すと、シャッター速度を設定することができます。なお、このとき撮影ガイダンスは画面上から消えます。
- Mモード時に【SET】に続けて【▲】【▼】を押すと、絞り値とシャッター速度の撮影ガイダンス表示を切り替えることができます。また、【◀】【▶】を押して、絞り値とシャッター速度を設定することができます。
- 撮影ガイダンスが消えているときに【DISP】を押すと、撮影ガイダンスは再び表示されます。

- 重要!** • Aモード時に表示されるシャッター速度やSモード時に表示される絞り値は、【シャッター】を半押ししてオートフォーカス機能が働くと、多少変化することがありますので、目安の数値と捉えてください(厳密な数値は、【シャッター】を半押ししたときに表示されます)。

露出モード撮影時のご注意

- 被写体が暗すぎたり、明るすぎるときは、適正な明るさで撮影できない場合があります。そのときは、Mモード(マニュアル露出)で絞り値またはシャッター速度を適正な値に変更してください。
- “BULB”に設定することができるのは、Sモード(シャッター速度優先AE)時とMモード(マニュアル露出)時です。
- “BULB”に設定している場合は、【シャッター】を押し込んでいる間(最長60秒)露光し、【シャッター】を離すと露光を終了します。
- “BULB”に設定している場合は、カードリモコンでのバルブ撮影方法はカメラ本体でのバルブ撮影方法と異なりますので、ご注意ください(114ページ)。
- CCDの特性上、シャッター速度が遅くなると、撮影した画像にノイズが発生します。そのため、シャッター速度が1秒より遅くなると、自動的にノイズ軽減処理を行います。ただし、シャッター速度が遅くなるほど、ノイズが目立って発生するようになります。ノイズが気になるような撮影においては、シャッター速度を4秒以上(4秒より速く)に設定してお使いください。また、ノイズ軽減処理のために撮影時間がシャッター速度の約2倍以上になります。
- シャッター速度を1/8秒より遅くした場合は、【液晶モニター】で見える明るさと実際に撮影された画像の明るさが異なります。

露出を固定して撮影する(AEロック撮影)

Mモード(マニュアル露出)以外の露出モードの撮影では、【シャッター】を半押しすると露出は固定されますが、それとは独立して露出を固定することができます。

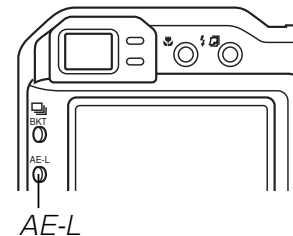
下記のような条件下であらかじめ露出を固定した後、構図を決めたり、ピントを合わせたいときに使用します。

- 露出を合わせたい被写体とオートフォーカスを使ってピントを合わせたい被写体が一致しないとき
- フラッシュ撮影時、フラッシュを発光する前の露出で撮影したいとき(シンクロ撮影)

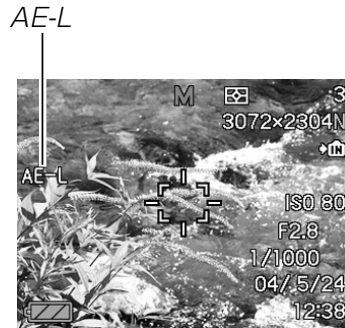
1. RECモードにして、露出を合わせたい被写体にカメラを向けます。

2. 【AE-L】を押します。

- 露出(絞り値とシャッター速度)が固定され、【液晶モニター】に“AE-L”と表示されます。



- 【AE-L】を再度押すか、モードを切り替えたり電源を切ると、露出固定は解除されます。



3. 撮影します。

- 撮影が終了すると、露出固定は自動的に解除されます。

- 重要!**
- 露出固定をやり直したいときは、【AE-L】を押して露出固定をいったん解除した後、再度【AE-L】を押してください。
 - 連写撮影中は、露出固定された状態で連続撮影します。
 - ムービー撮影開始前、およびムービー撮影中でも、露出固定／解除ができません(94ページ)。
 - 撮影する被写体と大幅に異なる輝度の構図でAEロックさせた場合には、オートフォーカスが正しく動作しない場合があります。
 - 【AE-L】を押し続けることでも、同様にAEロック撮影ができます。

連続して撮影する(連写モード)


【シャッター】を押すたびに1枚だけ撮影する1枚撮影モードと異なり、【シャッター】を押し続けている間、連続撮影ができます。本機では、次の3つの連写ができます。

- 通常連写モード
【シャッター】を押し続けている間、連続撮影することができます。
- 高速連写モード
【シャッター】を押し続けている間、約3枚／秒で最大5枚まで連続撮影することができます。通常連写よりも高速な連写が可能です。
- マルチ連写モード
【シャッター】を1回押して、短時間で25コマを連続撮影し、1枚の画像にまとめることができます。

連続して撮影する(通常連写)

【シャッター】を押し続けている間、連続撮影ができます。

- 撮影速度：撮影速度は、設定されている画像サイズや画質によって変わります。
- 撮影枚数：そのとき撮影できる最大の枚数

1. RECモードにして【 BKT】を押します。





2. 【▲】【▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

3. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【シャッター】を押している間、連続撮影します。
【シャッター】から指を離すと、撮影は終了します。

参考 • 【 BKT】を押し続けた状態で【▲】【▼】により連写モードを選んだ後、【 BKT】から指を離しても、連写モードを設定することができます。

高速で連続して撮影する(高速連写)

通常の連写より高速で連続撮影ができます。

- 撮影速度：約3枚/秒(ただし、シャッター速度が遅くなると、撮影間隔は長くなります)
- 撮影枚数：最大5枚

1. RECモードにして【 BKT】を押します。

2. 【▲】【▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

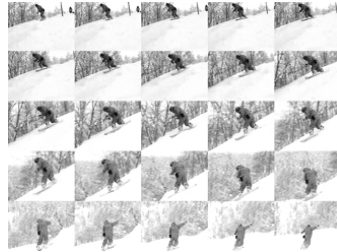
3. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【シャッター】を押している間、連続撮影します。
【シャッター】から指を離すと、撮影は終了します。

重要! • 撮影中は【液晶モニター】には撮影した画像は表示されません。
• シャッター速度が1秒よりも遅くなると、ノイズ低減処理が行われるため、撮影できる枚数は4枚に減少します。

25コマを1枚の画像にまとめる(マルチ連写)

短時間で25コマを連続撮影し、1枚の画像にまとめることができます。



1. RECモードにして【 BKT】を押します。

2. 【▲】【▼】で“”を選び、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“”が表示されます。

3. 【シャッター】を1回押して撮影します。

- 25コマの撮影が終了すると、1枚の画像に合成してメモリーに保存されます。

重要! • マルチ連写では、撮影する際に【シャッター】を押し続ける必要はありません。
• 保存される画像のサイズは1600×1200Pixelsとなります。

連写時のご注意

- 次のような場合は、連写はできません。
 - 撮影画質をTIFF形式(非圧縮)に設定しているとき(60ページ)
 - シャッター速度を“BULB”に設定しているとき(73、74ページ)
 - ベストショットモードのソフトフォーカスで撮影しているとき(87ページ)
 - カップリングショット／プリショット撮影しているとき(90、91ページ)
- 連写では、フラッシュは発光禁止となります。
- 通常連写では、セルフタイマーは使用できません。また、高速連写／マルチ連写では、トリプルセルフタイマーは使用できません。(58ページ)。
- マルチ連写では、シャッター速度を1/15秒より遅くすることはできません。
- 連写では、露出／フォーカス位置は1枚目を撮影した際に固定されますので、2枚目以降は1枚目と同じ露出／フォーカス位置で撮影されます。
- 連写中は、撮影が終了するまで、カメラを動かさないように注意してください。
- 連写中にメモリーの残り容量が足りなくなった場合、連写は途中で終了します。
- シャッター速度を遅く設定していると、連写の撮影間隔は長くなります。

オートブラケティング撮影をする

オートブラケティング撮影とは、いくつかの撮影条件を少しずつ変化させながら複数の画像を一挙に撮影することです。撮影した画像の中から最良の画像を選択したり、微妙な画質の変化を楽しむことができます。変化させることのできる撮影条件は次の3つです。

- 露出
- ホワイトバランス
- フォーカス距離



露出を切り替えて、3枚撮影した場合

また、1回の撮影で、条件を少しずつ変化させた複数の画像を一挙に記録することができます。ただし、条件の変化量や撮影枚数は固定されており、設定することはできません。変化させることのできる撮影条件は次の6つです。

- フィルター 1
- フィルター 2
- ポートレート
- シャープネス
- 彩度
- コントラスト

露出を自動的に変化させながら撮影する (AEブラケティング撮影)

1回の撮影で、露出値を少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。

- 露出値の補正幅(シフト量)は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして【 BKT】を押します。



2. **[▲][▼]**で“AEB”を選び、**[▶]**を押します。



3. **[▲][▼]**で撮影枚数を設定します。
- 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。
4. **[◀][▶]**で露出値の補正幅を設定します。
5. 設定が終了したら、**[SET]**を押します。
- [液晶モニター]**に“AEB”と表示されます。
6. **[シャッター]**を押して撮影します。
- [シャッター]**を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

- 参考**
- 撮影間隔は、高速連写(78ページ)と同じです。
 - [BKT]**を押し続けた状態で**[▲][▼]**によりオートブラケットングモードを選んだ後、**[BKT]**から指を離しても、同じように操作することができます。

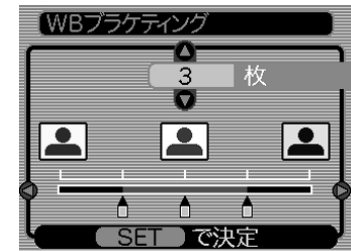
ホワイトバランスを自動的に変化させながら撮影する(WBブラケットング撮影)

1回の撮影で、ホワイトバランスを少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。

- ホワイトバランスの色の振れ幅は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして**[BKT]**を押します。

2. **[▲][▼]**で“WB”を選び、**[▶]**を押します。



3. **[▲][▼]**で撮影枚数を設定します。
- 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。

4. 【◀】【▶】でホワイトバランスの色味幅を設定します。

5. 設定が終了したら、【SET】を押します。

- 【液晶モニター】に“WBB”と表示されます。

6. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【シャッター】を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

参考 • 撮影間隔は、高速連写(78ページ)と同じです。

フォーカス距離(位置)を自動的に変化させながら撮影する(フォーカスブラケティング撮影)

1回の撮影で、フォーカス距離(位置)を少しずつ変化させた画像を3枚または5枚連続して撮影することができます。ピントを合わせにくいマクロ撮影や望遠撮影のときに使うと便利です。

- フォーカス距離の振れ幅(カメラと被写体までの距離)は、好みに合わせて設定することができます。

1. RECモードにして【 BKT】を押します。

2. 【▲】【▼】で“AFB”を選び、
【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で撮影枚数を設定します。

- 設定できる撮影枚数は3枚または5枚です。


4. 【◀】【▶】でフォーカス距離の振れ幅を設定します。
5. 設定が終了したら、【SET】を押します。
 - 【液晶モニター】に“AFB”と表示されます。
6. 【シャッター】を押して撮影します。
 - 【シャッター】を1回押すと、設定されている枚数分が撮影されます。

参考 • 撮影間隔は、高速連写(78ページ)と同じです。

さまざまな撮影条件を少しずつ変化させた画像を撮影する(マルチブラケティング撮影)

さまざまな撮影条件を少しずつ変化させた複数の画像を、一挙に記録することができます。ただし、1回の撮影での変化量や撮影される枚数は固定されており、設定することはできません。変化させることのできる撮影条件は次の6つです。

- フィルター1 (5枚)
- フィルター2 (5枚)
- ポートレート (3枚)
- シャープネス (5枚)
- 彩度 (5枚)
- コントラスト (5枚)

1. RECモードにして【 BKT】を押します。
2. 【▲】【▼】で“Multi”を選び、【▶】を押します。



3. **【▲】【▼】**で変化させたい撮影条件を選択し、**【SET】**を押します。

- **【液晶モニター】**に“MB”と表示されます。

4. **【シャッター】**を押して撮影します。

- **【シャッター】**を1回押すと、画像を1枚撮影した後、撮影条件に合わせて内部処理した画像が複数枚記録されます。

- 参考**
- “フィルター1”を選ぶと、白黒／セピア／赤／紫のフィルターを装着したような画像を撮影します。
 - “フィルター2”を選ぶと、緑／青／黄／ピンクのフィルターを装着したような画像を撮影します。
 - “ポートレート”を選ぶと、標準的な撮影の後に、ソフトフォーカスの画像、肌色を強調した画像を撮影します。

オートブラケティング撮影時のご注意

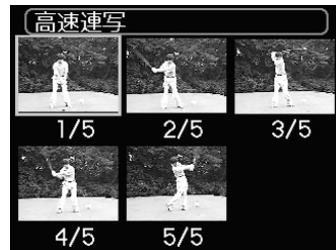
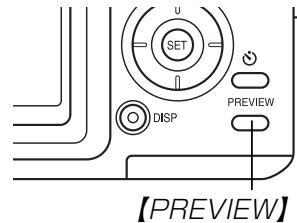
- 次のような場合は、オートブラケティング撮影はできません。
 - 撮影画質をTIFF形式(非圧縮)に設定しているとき(60ページ)
 - シャッター速度を“BULB”に設定しているとき(73、74ページ)
 - ベストショットモードのソフトフォーカスで撮影しているとき(87ページ)
 - カップリングショット／プリショット撮影しているとき(90、91ページ)
- オートブラケティング撮影では、フラッシュは🚫(発光禁止)となります。
- オートブラケティング撮影では、トリプルセルフタイマー(58ページ)は使用できません。
- オートブラケティング撮影中は、設定されている枚数分(3枚または5枚)の撮影が終了するまで、カメラを動かさないように注意してください。
- 5枚撮影できるブラケティング撮影で、シャッター速度が1秒よりも遅くなると、ノイズ低減処理が行われるため、最後の1枚が撮影されません(4枚までで撮影が中断されます)。
- オートブラケティング撮影中にメモリーの残り容量が足りなくなったり、電池が切れた場合は、撮影は中断されます。
- オートブラケティング撮影では、一部のメニュー設定が無視される場合があります。

高速連写／ブラケティング撮影した画像をすぐに確認する(マルチプレビュー機能)

高速連写／ブラケティング撮影した画像を、PLAYモード(121ページ)に切り替えずに、RECモードで見ることができます。

1. 高速連写／ブラケティング撮影した後に【PREVIEW】を押します。

- 高速連写／ブラケティング撮影した画像が簡易画像で表示され、1枚目に撮影された画像の上に枠が表示されます。



高速連写で撮影した画像を見た場合

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で画像に枠を移動し【SET】を押すと、枠の画像が1枚で表示されます。

- 【液晶モニター】に“”などのアイコンと何枚目に撮影した画像かを示す数値が表示されます。

3. 【◀】【▶】で前後の画像を見ることができます。

4. 再度【PREVIEW】を押すと、簡易画像が表示される前の状態に戻ります。

- 重要!**
- 通常連写／マルチ連写／1枚撮影後に【PREVIEW】を押した場合は、最後に撮影した1枚の画像しか見ることはできません。
 - 以下の場合は、【PREVIEW】を押しても、直前に高速連写／ブラケティング撮影した画像を見ることはできません。
 - － 電源を入れた直後
 - － 撮影後に【モードダイヤル】を回した場合
 - － 高速連写／ブラケティング撮影以外の新たな撮影をした場合
 - 高速連写後でも、1枚しか撮影していなかった場合は、一覧表示にはなりません。1枚表示の画面になります。

プレビュー中の画像を消去する

高速連写／ブラケティング撮影した画像を、プレビュー中に消去することができます。

重要! • 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行ってください。

1. 高速連写／ブラケティング撮影した後に【PREVIEW】を押して、簡易画像を表示させます。

2. 【EX 】を押します。



3. 【▲】【▼】で消去内容を選びます。

全連写消去：直前に高速連写またはブラケティング撮影したすべての画像を消去します。

消去：【◀】【▶】で画面に表示させた画像のみを消去します。

キャンセル：消去を中止します。

4. 【SET】を押します。

重要! • 直前に撮影した画像が1枚しかない場合は、“全連写消去”は表示されません。

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

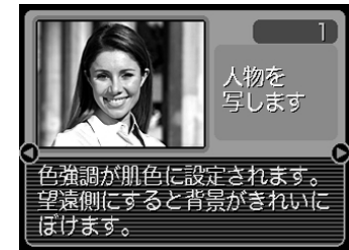
27種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

シーンNo.	内蔵シーン
1	人物を写します
2	風景を写します
3	風景と人物を写します
4	カップリングショット(90ページ)
5	プリショット(91ページ)
6	ソフトフォーカス
7	子供を写します
8	スポーツを写します
9	キャンドルライトで人物を写します
10	パーティーを写します
11	ペットを写します
12	花を写します
13	緑を鮮やかに写します
14	水の流れを滑らかに写します
15	水しぶきを止めて写します
16	夕日を写します
17	夜景を写します
18	夜景と人物を写します
19	花火を写します
20	食べ物を写します

シーンNo.	内蔵シーン
21	文字を写します
22	コレクションを写します
23	白黒
24	レトロ
25	トワイライト
26	名刺や書類を写します(92ページ)
27	ホワイトボードなどを写します(92ページ)
	新規登録(88ページ)

1. 【モードダイヤル】を“BS”に合わせ、【SET】を押します。

- ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。



2. 【◀】【▶】で撮影したいシーンを選び、【SET】を押します。

3. 撮影します。

撮影する(応用編)

- 重要!**
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
 - 被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
 - シーンを選んだ後から【SET】を押し、【◀】【▶】で撮影したいシーンを選んで【SET】を押すと、シーンを選び直すことができます。
 - 選んだシーンの各種設定内容は変更することができますが、シーンを選び直したり、電源を入れ直すと、設定内容は初期状態に戻ります。
 - 夜景や花火のシーンなどシャッター速度が遅くなる撮影では、撮影した画像にノイズが発生するため、自動的にノイズ低減処理を行っています。このノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間がシャッター速度に比べて長くなります。その間はキー操作を行わないでください。
 - 夜景や花火のシーンなどシャッター速度が遅くなる撮影では、手ぶれを防ぐために、三脚の使用をおすすめします。
 - 花火のシーンでマルチ連写(79ページ)を行っても、シャッター速度が1/15秒に固定されてしまうため、撮影した画像は真っ暗になり、何も写りません。

- 参考**
- ベストショットモードで電源を入れたとき、約2秒間、操作ガイドと現在選ばれているシーンのサンプル画像が表示されます。



撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに登録して、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. 【モードダイヤル】を“BS”に合わせ、【SET】を押します。
 - シーンのサンプル画像が表示されます。
2. 【◀】【▶】を押して、“新規登録”を表示させます。

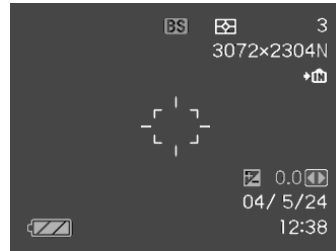


3. 【SET】を押します。
4. 【◀】【▶】を押して、登録したい画像を選びます。




5. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。

- 登録が完了します。
- 撮影できる状態になります。以降、87ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。



- 重要!**
- 本機では、本機内蔵のシーンのあとに“マイベストショット”(カスタム登録したシーン)の順番でシーンが登録されます。
 - 内蔵メモリーをフォーマット(152ページ)すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

参考

- 登録される設定内容は下記の通りです。
フォーカスモード、EVシフト、フィルター、測光方式、ホワイトバランス、フラッシュ光量、シャープネス、彩度、コントラスト、フラッシュモード、ISO感度、フラッシュアシスト、マニュアル撮影時の絞り値とシャッター速度
- 本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
- 登録可能件数は最大999件となります。
- 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
- カスタム登録したシーンのファイル名は、「UP700nnn.JPE (n=0~9)」となります。
- カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、【EX 】を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「SCENE」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください(178ページ)。